

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 19 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気であふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	米澤 俊一
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	商工振興課	担当者名	森山 邦彦
	基本事業	90	公有財産の管理運営			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1251
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	指定管理者協定書	成果優先度評価結果	11
	1	7	1	2	11284			コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 13 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	指定管理者協定書に基づく、総合健康センターの施設維持管理事業。公益上認められる30万円以上の施設・備品等の修理。 平成13年7月西合志町総合ふれあいセンター「ユーパレス弁天」が開館。地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、平成18年8月に締結した協定書の規定に基づき開始した。 指定管理者の指定期間が平成21年9月末となっており、期間満了後は指定管理者の改正が必要となる。 平成19年度に物産館の増設を行った。㈱にしごうしの収支が平成19年度は赤字経営だったが、平成20年度は黒字の見込み。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	㈱にしごうしから対象金額に達する申請に対し内容を審査し該当のある場合のみ施設等の修繕を行う ①にしごうしからの申請、②受付・内容審査、③業者選定・発注、④業務契約、⑤修繕工事実施、⑥検査、⑦支払い
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、負担金
【意見や要望】	協定書に基づく修理費等の予算計上について、議会から市費の投入は慎重に行うよう指摘がある。施設開館から丸7年を経過し施設が老朽化したことにより、利用者から雨漏りや清潔感に対する苦情が上がっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
建物点検調査委託(483,000円)を実施(事業番号11284) 源泉水量計修理(348,946円)を㈱にしごうしに負担金支払。(事業番号11151)	指定管理協定書に基づく施設の修理、改修等 要望書に基づく事業実施年度の振分け
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
→ ア:修理箇所	件
	イ:修理等金額
	千円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者	→ ア:来館者
	千円
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
利便性・安全性を確保する	→ ア:修理済箇所数/要修理箇所数
	%
	→ イ:苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 指定管理協定書及び修繕要望書に基づく事業実施振分け	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	件		1	1	6	1	1	
	イ	千円		315	5000	5913	5000	5000	
⑤ 対象指標	ア	千円		531.3	530	530	530	530	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%		60	60	60	60	60	
	イ	%		40	40	40	40	40	
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円		798	5,000	5,913	5,000	5,000
	(A) 事業費計	千円		0	798	5,000	5,913	5,000	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人		2	2	3	2	2	
	延べ業務時間	時間		350	400	550	400	400	
	(B)人件費計	千円		0	1,400	1,592	1,592	1,592	
トータルコスト(A)+(B)		千円		0	2,198	6,592	8,102	6,592	0

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

指定管理協定書に基づいて要望のあった修理等について、当初予算で対応できなかったものが幾つかあったため、補正で対応した。
緊急性のあるもの、株にしごうしで対応できるもの等を精査して、前年度の9月には要望書を提出してもらうよう指導した

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 施設の改善計画を立て、指定管理者との連絡調整を頻繁に行うことで無駄を省き、効率よい運営事業が展開できる	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持			△																	
	低下			△																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
建築から8年目を迎えて、施設の大規模改修について検討する必要となる。